

指標① 草薙総合運動場における避難人口1人あたり避難地面積の向上

(1) 指標の考え方

都市公園としての施設整備及び防災拠点としての機能拡充を図ることで、公園の安全・安心な利用を実現する。

このため、広場整備を実施し、避難人口（昼間）に対する避難地面積の拡大を指標として設定した。（避難人口1人当たりの避難地面積の将来目標は2.0m²/人とする）

(2) 指標の対象

緑地広場（旧体育館跡地）及び新体育館前広場（旧静岡学園跡地）の整備を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成28年度末の最終実績値は1.69m²/人であり、期間内の最終目標値を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H24当初	H28末最終目標	H28末最終実績	H28末達成率
草薙総合運動場における避難人口1人当たりの避難地面積（m ² /人）	1.37m ² /人 (46,900m ² /34,244人)	1.69m ² /人 (57,800m ² /34,244人)	1.69m ² /人 (57,800m ² /34,244人)	100%

指標② 草薙総合運動場における整備すべき屋内緊急物資集積所整備率の向上

(1) 指標の考え方

都市公園としての施設整備及び防災拠点としての機能拡充を図ることで、公園の安全・安心な利用を実現する。

このため、屋内緊急物資集積場として機能する屋内スペースの拡大をすることを指標として設定した。（屋内緊急物資集積スペースの将来目標値は10,000m²とする）

(2) 指標の対象

体育館及び屋内運動場の整備を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成28年度末の最終実績値は69.9%であり、期間内の最終目標値を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H24当初	H28末最終目標	H28末最終実績	H28末達成率
草薙総合運動場における整備すべき屋内緊急物資集積所整備率	22.5% (2,250m ² /10,000m ²)	69.9% (6,986m ² /10,000m ²)	69.9% (6,986m ² /10,000m ²)	100%

指標③ 県営都市公園における遊具に係る長寿命化対策（更新）を100%にする

（1）指標の考え方

県営都市公園内に設置されている施設については、都市公園施設長寿命化計画に基づき維持管理を行っている。

このうち、健全度判定により対策の必要性があるとされた遠州灘海浜公園に設置されている遊具4施設について施設の更新を進め、遊具施設の健全度を引き上げるため指標として設定した。（遊具19施設のうち15施設は対策済み）

（2）指標の対象

遠州灘海浜公園における遊具4施設を対象としている。

（3）指標の達成状況

平成28年度末の最終実績値は100%であり、目標値を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H24当初	H28末最終目標	H28末最終実績	H28末達成率
長寿命化対策済み遊具数の割合（19施設）	78.9% （15施設/19施設）	100% （19施設/19施設）	100% （19施設/19施設）	100%

指標④ 吉田公園における来園者全員が最寄りの津波避難施設へ移動できる割合の向上

(1) 指標の考え方

発生が懸念される東海地震や東海・東南海・南海の三連動地震などによる災害から公園利用者の生命を守り、安全・安心に利用できる都市公園を創出するため、平成26年度から平成28年度までの3年間で、吉田公園に築山を建設することを指標として設定した。

(2) 指標の対象

吉田公園における築山建設を対象としている。

(3) 指標の達成状況

平成28年度末の最終実績値は100%であり、目標値を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H24当初	H28末最終目標	H28末最終実績	H28末達成率
吉田公園における来園者全員が最寄りの津波避難施設へ移動できる割合	3.0% (100m ² /3,300m ²)	100% (3,300m ² / 3,300m ²)	100% (3,300m ² / 3,300m ²)	100%

(4) 指標に関連する実施事例

1-A-1 (都市公園事業 (草薙総合運動場))

草薙総合運動場

(静岡市栗原)

●着手前

旧体育館



●対策後

緑地広場 (旧体育館跡地)



(4) 指標に関連する実施事例

1-A-1 (都市公園事業 (草薙総合運動場))

草薙総合運動場
(静岡市栗原)

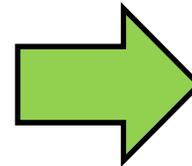
●着手前

旧体育館



●対策後

新体育館



(4) 指標に関連する実施事例

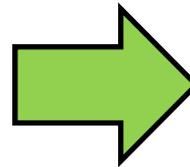
1-A-2 (公園施設長寿命化対策)

遠州灘海浜公園

(浜松市南区江之島町)

●着手前

劣化が激しい状況であり、
施設の一部を使用禁止にしている
状態であった。



●対策後

更新を実施したことにより、
安心して遊べるようになった。



(4) 指標に関連する実施事例

1-A-3 (都市公園安全・安心対策)

吉田公園
(榛原郡吉田町川尻)

項目	内容	説明
避難対象人数	6,600人	年間最大同時滞在者数の実績による
命山箇所数	2箇所	他にも既存築山1箇所 イベント開催箇所周辺に配置
避難施設面積	3,300m ²	内訳：命山No. 1 : 2,000m ² (4,000人) 命山No. 2 : 1,200m ² (2,400人) 既存築山 : 100m ² (200人) 1人当り面積0.5m ² /人

●着手前



●対策後



築山を整備したことにより、
公園利用者全員が津波より
避難できる場所を確保した。

(5) 今後の方針

今回、期間内での最終目標値は達成したが、将来目標の達成に向け今後も公園整備を促進していく。